

## 第2回中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会での主な意見等について

分類	課題	検討事項 分類	検討事項 分類	提案
指導者確保	今後の人材確保についてだが、仮に合同部活動という形ではなく学校単位で地域連携・地域移行を進めた場合、多くの指導員を確保していく必要がある。	③	① 平日の地域連携について	部活動の精選をしていき、部員数が少ない部活動については、近隣の中学校との合同部活動として行っても良いのではないかと。
	特定の種類の指導者を探すのは学校にとっては大変なことであり、すぐには見つからないというのが実情である。	③		地域の中にどのような指導者がいるのか調査をし、その上で地域の人材に合わせた部活動をつくるのもいいのではないかと。
外部の指導者の質	新規に入った部活動指導員となると先輩や保護者から事前の評判等の情報がないためどんな部活動指導員なのか懸念はあるかもしれない。	③	② 休日の地域移行について	現状では一校一つの部活動に一人の部活動指導員を配置することとしているが、これを一校二つの部活動に指導時数を半分にすることで二人の部活動指導員を配置することはできないかと。
	外部の指導者による指導は良いとは思いますが、現場の中学校からは外部の指導者は普段は学校にいないため、学校や生徒の状況が分からないという声や何かあったときの補償はあるのか等の声があった。	③		教員の中にも部活動の指導に対する情熱がある教員もいるため、休日の部活動地域移行の場に教員が活躍できるようにしてもいいのではないかと。
	保護者としては部活動に関わる指導者がどんな人物か分からない。指導力についても分からない。	③	③ 人材の発掘について	地域クラブ等の活動場所についてだが、小学校の校庭、体育館、教室などを活用することもできるのではないかと。
	小平市体育協会では指導者の紹介を学校にすることもあるが、あくまで仲介であるため、各連盟や団体から紹介された人材に専門的指導力があっても教育的指導ができるのかまでは分からない。	①, ③		付近の小学校、高校、大学、特別支援学校に在籍の教員で、部活動の指導を希望する方から人材を確保するのも良いのではないかと。
	学校の教員ではないと教育的な指導がしっかりできないのではないかとという心配もある。小平市で地域連携・地域移行を進めるにあたって、基準を作っていく必要があるのではないかと。	③		小平市体育協会に加盟している団体が33団体あるため、問い合わせがあれば、ある程度対応はできると思う
	専門的な技術指導ができるからといって、生活指導ができるというわけではない。部活動指導員については既に小平市において研修を開いているのだから、それだけでは足りない部分もあるだろう。	③		地域の中には部活動の指導ができるような人材がおり、それを地域教育コーディネーターが学校との間で仲介することで、部活動指導の人材確保ができるのではないかと。
地域移行	休日の部活動地域移行に部活動の指導にやる気のある教員をどう関わらせていくのか。	②	④ その他	平日の地域連携と休日の地域移行が連携した形になることを望む。
	地域移行に伴う会場等の課題について、現時点で小平市市民総合体育館の使用率は高く、地域クラブ等の活動を小平市市民総合体育館だけで行うことは難しい。	②		地域連携を軸にして進めていき、地域移行を部分的に進めていくのが現実的ではないかと。
	市の公共施設にも限りがあるため休日の地域クラブ等の活動のために場所の提供は難しい。	②	⑤ 忙しい部活動指導員に教員について	
その他	部活動指導員の扱いについて保護者の中での認知度が低いのが現状ではないかと。	③		
	生徒や保護者のニーズを受けて、部活動日数や時間が多くなっていることもあるのではないかと。	⑤		
	15時45分から16時30分(教員の休憩時間)を勤務として部活動指導を行えないとなると、部活動を学校が担っていくのは難しい。	①, ⑤		